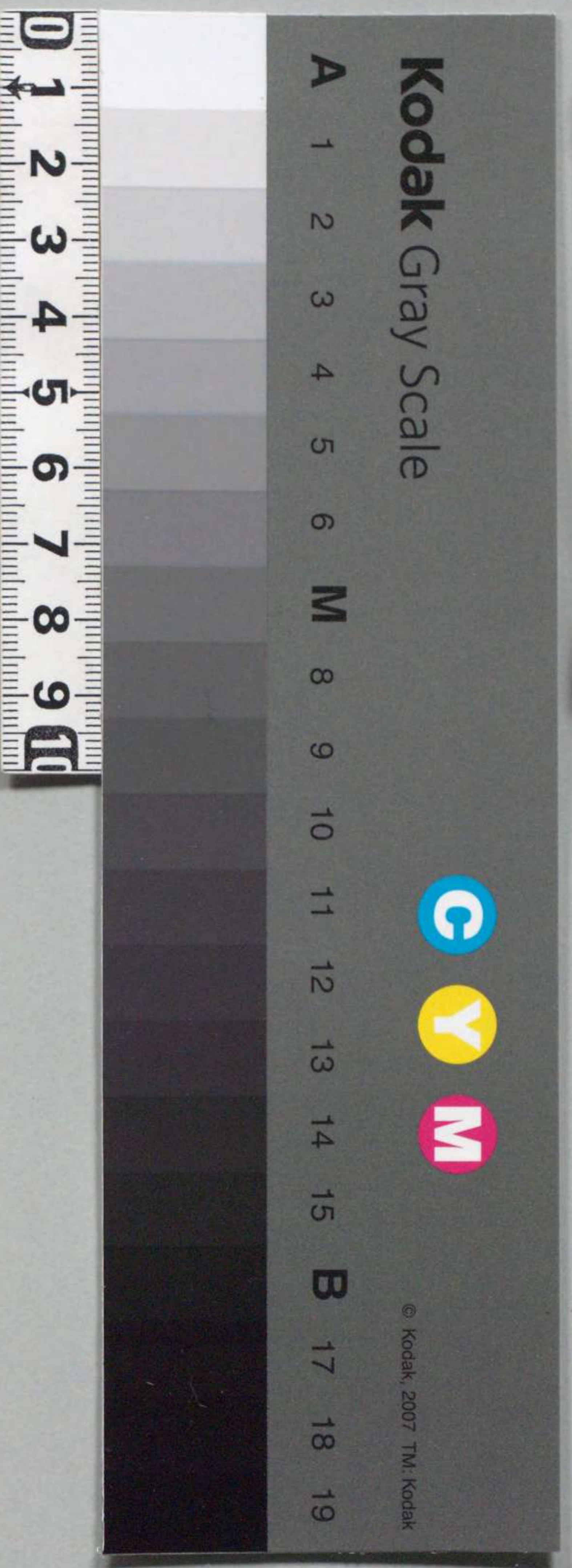
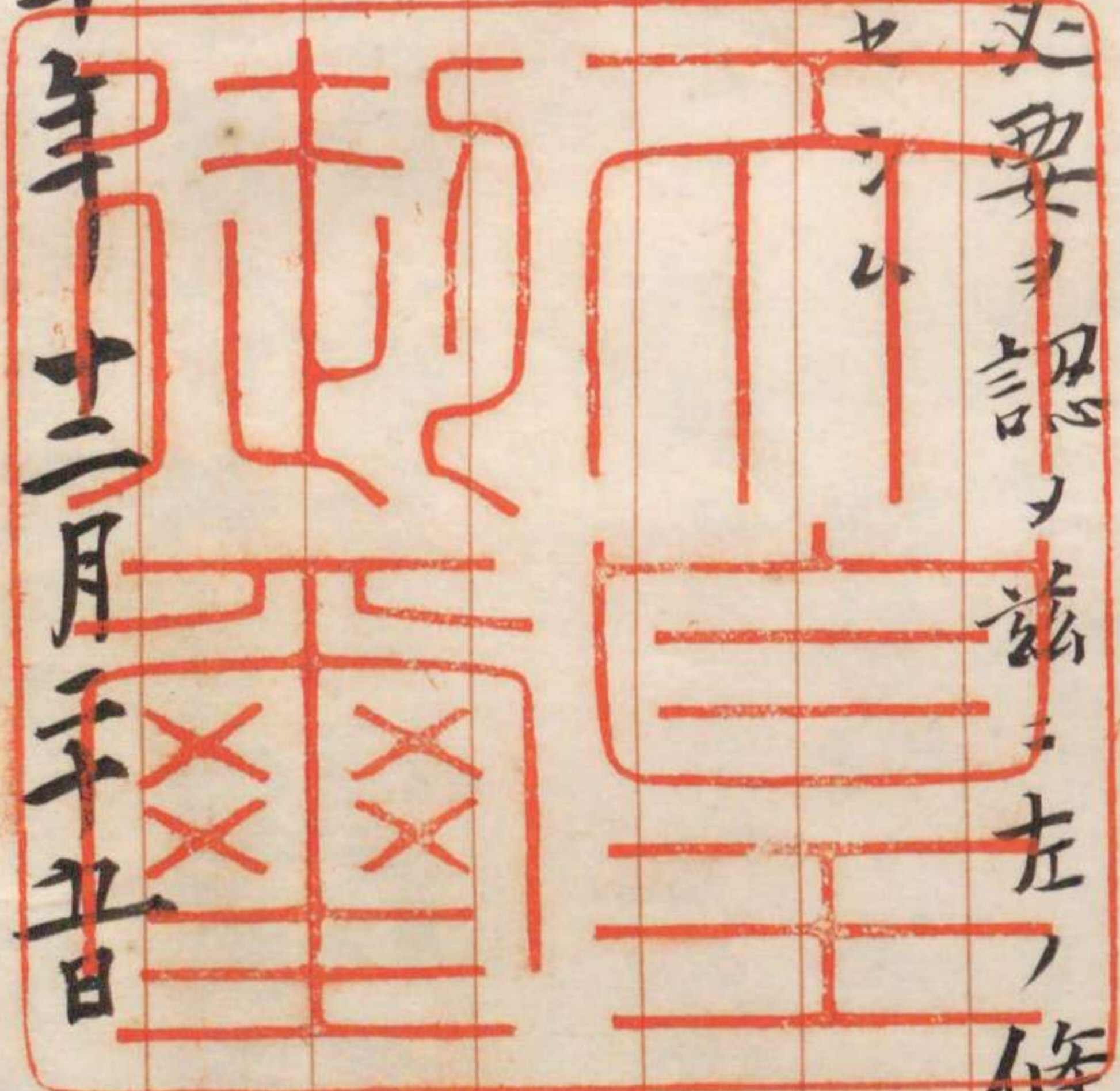


勅令第六十七号



朕惟ノニ今ノ時ニ當リ大政ノ進路ヲ開通シ臣
民ノ幸福ヲ保護スル為ニ妨害ヲ除去シ安寧ヲ
維持スルノ必要ヲ認メ茲ニ左ノ條例ヲ裁可シ
テ之ヲ公布セラル

睦仁



明治二十年十二月二十日

局

内閣總理大臣伯爵伊藤博文
内務大臣伯爵山縣有朋
司法大臣伯爵山田顕義

勅令第六十七號
保安條例

第一條

凡ソ秘密ノ結社又ハ集會ハ之ヲ禁ス犯ス者ハ
一月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百
圓以下ノ罰金ヲ附加ス其首魁及教唆者ハ二等
ヲ加フ

内務大臣ハ前項ノ秘密結社又ハ集會又ハ集會
條例第八條ニ載スル結社集會ノ聯結通信ヲ阻
遏スル為ニ必要ナル豫防處方ヲ施スコトヲ得

其處分ニ對シ其命令ニ違反スル者罰前項ニ同
シ

第二條

屋外ノ集會又ハ羣集ハ豫メ許可ヲ經タルト否
トヲ問ハス警察官ニ於テ必要ト認ムルトキハ
之ヲ禁スルコトヲ得其命令ニ違フ者首魁教唆
者及情ヲ知リテ參會シ勢ヲ助ケタル者ハ三月
以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以
下ノ罰金ヲ附加ス其附和隨行シタル者ハ二圓
以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

集會者ニ兵器
携帶シタル者ハ



タル者又ハ各自ニ
三等ヲ加フ

第三條

内亂ヲ陰謀シ又ハ其
ノ目的ヲ以テ文書又ハ
タル者ハ刑法又ハ出版
外仍其犯罪ノ用ニ供
スハシ
印刷者ハ其情ヲ知ラサ
ルニシテ前項ノ處
分ヲ免ル、コトヲ得ス

其處分ニ對シ其命令ニ違反スル者罰前項ニ同
シ

第二條

屋外ノ集會又ハ君
トヲ問ハス警寤
之ヲ禁スルコトヲ
者及情ヲ知リテ
以上三年以下ノ輕
下ノ罰金ヲ附加
以上二十圓以
シ
ハ豫メ許可ヲ經タルト否
於テ必要ト認ムルトキハ
其命令ニ違フ者首魁教唆
シ勢ヲ助ケタル者ハ三月
錮ニ處シ十圓以上百圓以
下ノ罰金ヲ附加シタル者ハ二圓
以上二十圓以



集會者ニ兵器ヲ携帶セシメタル者又ハ各自ニ
携帶シタル者ハ各本刑ニ二等ヲ加フ

第三條

内亂ヲ陰謀シ又ハ教唆シ又ハ治安ヲ妨害スル
ノ目的ヲ以テ文書又ハ圖畫ヲ印刷又ハ板刻シ
タル者ハ刑法又ハ出版條例ニ依リ處分スルノ
外仍其犯罪ノ用ニ供シタル一切ノ器械ヲ沒收
スヘシ
印刷者ハ其情ヲ知ラサルノ故ヲ以テ前項ノ處
分ヲ免ルコトヲ得ス

第四條

皇居又ハ行在所ヲ距ル三里以内ノ地ニ住居又ハ寄宿スル者ニシテ内乱ヲ陰謀シ又ハ教唆シ又ハ治安ヲ妨害スルノ虞アリト認ムルトキハ警視總監又ハ地方長官ハ内務大臣ノ認可ヲ經期日又ハ時間ヲ限リ退去ヲ命ジ三年以内同一ノ距離内ニ出入寄宿又ハ住居ヲ禁スルコトヲ得

退去ノ命ヲ受ケテ期日又ハ時間内ニ退去セサル者又ハ退去シタルノ後更ニ禁ヲ犯ス者ハ

一年以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ仍五年以下ノ監視ニ付ス

監視ハ本籍ノ地ニ於テ之ヲ執行ス

第五條

人心ノ動亂ニ由リ又ハ内乱ノ豫備又ハ陰謀ヲ為ス者アルニ由リ治安ヲ妨害スルノ虞アル地方ニ對シ内閣ハ臨時必要ナリト認ムル場合ニ於テ其一地方ニ限リ期限ヲ定メ左ノ各項ノ全部又ハ一部ヲ命令スルコトヲ得

一凡ソ公衆ノ集會ハ屋内屋外ヲ問ハス及

何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス豫メ警察官ノ許可ヲ經サルモノハ總テ之ヲ禁スル事

二新聞紙及其他ノ印刷物ハ豫メ警察官ノ檢閲ヲ經スシテ發行スルヲ禁スル事

三特別ノ理由ニ因リ官廳ノ許可ヲ得タル者ヲ除ク外銃器短銃火藥刀劍仕込杖ノ類總テ携帶運搬販賣ヲ禁スル事

四旅人ノ出入ヲ檢査シ旅券ノ制ヲ設クル事

第六條

前條ノ命令ニ對スル違犯者ハ一月以上二年以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス其刑法又ハ其他特別ノ法律ヲ併セ犯シタルノ場合ニ於テハ各本法ニ照シ重キニ從ヒ處斷ス

第七條

本條例ハ發布ノ日ヨリ施行ス

